

第156号  
 郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
 TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部  
 104-0031 東京都中央区京橋3-6-3  
 京橋通郵便局5F  
 TEL・FAX 03-3535-5447  
 piwutokyo@yahoo.co.jp

# 2億円の支払われる

## 郵政ユニオンの取り組みと労働者の告発から

東京通信病院は人員不足からサービス残業が常態化し、組合は根絶に向けた取り組みを行ってきました。その結果、サービス残業があったとして2015年10月〜2018年3月分の未払い賃金を4月、約540人の看護師に総額2億円支払われました。以下、郵政ユニオン逋病支部の機関紙から引用します。

### 調査結果をもとに

### 交渉で何度も追及

職場は「すごい金額でびつくりした」「短時間の残業でもすごい金額になるんだね」という声があがっています。会社は今回の是正は2017年10月に退職した社員の申し出があったからと説明しています。しかし、組合は2017年以前より看護師のサービス残業の実態を改善するように毎年、要求書を提出し、交渉してきました。始業前の残業は日常的にあり、2011年の2交代制勤務導入で更に深刻になりました。2013年、組合は2交代

# 憲法集会に6万5千人

5月3日、東京臨海広域防災公園で、「憲法9条の改憲を許すな」の集会が行われました。都内に働く労働者、市民をはじめとして近県からも多く参加しました。郵政ユニオンも多数参加し、改憲ノーを上げてきました。



勤務者にアンケートを実施。99%が30分〜60分前に出勤し、情報収集や点滴等していると回答。組合はこの結果を示し、病院に改善と調査を求めました。2015年、2016年も要求書を提出し、サービス残業に賃金を支払うよう求めたのです。

これに対し病院は「前残業はないと思っている」と等と回答し、実態調査を求める声を無視してきたのです。その後、郵政ユニオン本部が逋病支部の取り組みをもとに本社と交渉し、電子カルテのログイン・ログアウトで調査するよう求めたのでした。未払い賃金の支払いはこうした取り組みがあったからです。今、都内各局のサービス残業は深刻です。会社は逋病病院で支払ったように都内各局のサービス残業にも支払うよう強く求めておきます。

### 本部も逋病の実態を 本社交渉で追及